

Contents

- 1. 2012 - 2013 の通年研修生募集中
- 2. 国際シンポジウム(6 月 27 日)
- 3. 竜巻による被害(5 月 6 日、つくば市)
- 4. トルコの JICA ワークショップで元研修生が発表

[1] 2012 - 2013 の通年研修生募集中

地震・耐震・防災復興政策コースで、現在今年 10 月から一年間の研修生を募集しています。対象国は以下の 20 各国から計 21 名を予定しています。6 月 8 日（金）が締切ですので、ふさわしい候補者をご存じでしたら、紹介をよろしくお願ひします。詳しくは各国の JICA 事務所に問い合わせるようお伝え下さい。なお、候補者は大学卒業後、政府系機関か大学で 3 年以上の実務経験があることが必要です。

（対象国：インドネシア、フィリピン、ミャンマー、中国、ネパール、パプアニューギニア、ドミニカ共和国、エルサルバドル、ニカラグア、チリ、コロンビア、エクアドル、ペルー、ベネズエラ、イラン、トルコ、セルビア、アルメニア、トルクメニスタンの 20 ヶ国から計 21 名）

また、2006 年から開始された津波防災コースでも、同じ締切で一年間の研修生を募集しています。津波防災の対象国は、フィリピン、ミャンマー、パプアニューギニア、バヌアツ、チリ、ペルーの 6 ヶ国から計 7 名を選ぶ予定ですので、併せてお願ひします。

黒澤 肇
国際地震工学センター管理室長

[2] 国際記念シンポジウム (6 月 27 日)

建築研究所では、UNESCO と政策研究大学院大学 (GRIPS) と共催で 6 月 27 日 (水) に東京で国際記念シンポジウムを開催します。今年、国際地震工学研修 (IISEE) の創設 50 周年と開始当時 UNESCO の支援を受けたことも記念して「命を守る地震・津波防災の実現に向けて」と題して一日行います。基調講演は、前京都大学総長の尾池先生が「地震学の未来」について、UNESCO ルーバン部長が「地震津波防災におけるユネスコの役割と戦略」について行います。参加は無料ですが、以下に事前申し込みをお願ひいたします。

<http://www.kenken.go.jp/japanese/information/information/press/20120514.pdf>

黒澤 肇
国際地震工学センター管理室長

[3] 竜巻による被害（5月6日、つくば市）

5月6日（日）の午後、つくば市にてフジタスケールでF2クラスの竜巻が発生しました。一名が亡くなり、数多くの住宅が全半壊しました。建築研究所では当日から現地調査を行い、以下のレポートを作成しています。今後詳細な分析もなされる予定です。

<http://www.kenken.go.jp/japanese/contents/activities/other/disaster/kaze/2012tsukuba/120506-tsukuba.pdf>

安藤 尚一（博士）
国際地震工学センター長

[4] トルコの JICA ワークショップで元研修生が発表

2010-2011年に地震学コースの研修を受けたトルコの TETIK Cigdem さんから、JICA がトルコ・日本地震協力 60 周年記念シンポジウムにあたり、日本(入倉、古村先生)やトルコの第一級の専門家に混じり、6月1日と2日にトルコで講演を行う予定であると連絡がありました。

IISEE

このニュースレターは、これまでの研修生（英語メールのみ）と関係者の方々にお送りしています。皆様のご意見や情報をお待ちしております。（編集：J.S.）

Email: iiseenews@kenken.go.jp

website: <http://iisee.kenken.go.jp>

ニュースレター バックナンバー : <http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>
